

2 北の星座がすぐに探せる「北天星座めっけ傘」

(1) 教材の特徴

- ① 方位、高度が固定されるので、北天にある目的の星座をすぐに見つけることができる。
- ② 使用法について学習すると、確実に見つけられそうだという見通しを児童自身が持つことができるので、戸外での観察意欲が高まる。

(2) 準備物

透明傘、蓄光シール、木綿糸、カードリング、蓄光塗料、油性ペン、まち針、ストロー、強力磁石、金のこ、はさみ、セロハンテープ、北天星座型（P.44の【資料】を参照）

(3) 製作方法

- ① 北天星座型を用意する。（【資料】①～⑧をそれぞれA3版に拡大コピーして使用）
- ② 蓄光シールを、2等星（1.5cm程度）、3等星（1.1cm程度）、4等星（0.8cm程度）の大きさごとに必要枚数だけ切り取る。
※ カシオペヤ座と北斗七星の場合、2等星を3枚、3等星を7枚、4等星を2枚使用する。
- ③ 傘の柄の部分を経のこで切り取る。（軸の長さが、中心からおよそ58cmになる。）
- ④ 北天星座型を、透明傘の骨に沿って外側にセロハンテープでとめる。
- ⑤ 傘の内側から、星の明るさごとに用意した蓄光シールを星の位置に貼る。
※ 下の写真では、カシオペヤ座（【資料】②）と北斗七星（【資料】⑥）の型を貼り付けた場合。

